

# 灯

(あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和6年2月21日(水) 第31号

文責：校長 森下 隆司

## 祝！ 公立高校前期選抜試験に中学3年生全員合格！

2月1日に実施された「公立高校前期選抜試験」の合否が、2月8日に発表されました。本校の中学3年生4名は、全員前期選抜試験を受験していたため、8日の職員室は何だか落ち着かないそわそわモードでした。合否が発表される14時前になると、一層落ち着かない先生方の様子。各学校のホームページに合格した受験番号が掲載されるのですが、アクセスが集中しているためなかなか確認できない、もどかしい時間がありました。一人、また一人と合格の確認ができ、4名すべての合格が確認されると、職員室は先生方の歓喜の音が響き渡りました。授業中だったのですが、こんな時はそれもいいでしょう。

そこからは、中学3年生に全員合格を知らせるための準備が始まり、5校時の全校体育で集まっている体育館で、合格した受験番号を張り出し、中学全員が4名全員の合格を確認し、一緒に喜び合いました。お互いに抱き合っただけで喜ぶ生徒、感情があふれて涙を流す生徒、一緒に合格発表に立ち合った2、1年生は、自分自身の1年後、2年後の姿をイメージしたのではないのでしょうか。

3年生の4名は、玉之浦小中学校の最高学年として、自分自身のため、学校のために、たくさんの汗を流して、手本となるべき姿を示してくれました。そんな日頃からの素直で、ひたむきな姿勢と、これまでの学習への熱心な取組によって、合格をつかむことができたのだと思います。「思う念力岩をも通す(必死になれば、できないことはない。)」4名がまさに体現してくれました。

玉之浦小中学校で汗を流し、自分のため、みんなのために尽力をしたことが、4名の未来を大きく拓いていくことと期待しています。心から合格おめでとうございます！



## たまんなっ子じまん — 長崎新聞「ジュニア俳壇」 —

今年最初の掲載は、紬さんと優斗さんでした。二人の俳句が掲載され、優斗さんの俳句には、選者から「優斗さん、一番楽しんでいる父の姿」と講評も掲載されていました。今年度も残り少なくなりましたが、小学生も含めて、今後の掲載が楽しみです。

「雪だるま棒を取ってと父が言う 埴 優斗」 「祖母の家こたつの中で春の夢 小林 紬」